



## 総 題 健康と癒し

### 第 5 課

かん 環境  
きょう 境

SDA聴覚しょうがい者友の会教材部  
森 博光 2010, 4, 24~2010, 4, 30

#### はじめに 4月24日(土曜日)

私たちの住む地球は、我々の肉体と同じに、ある程度、自然の治癒能力をもっていました。ところが20世紀になって、事情は変わりました。人間が地球から搾り取る力は、今までとは比べ物にならないほど、巨大になり、地球の生態系を危うくするまでに変わってしまいました。人類はそれ程の力をもってしまったにもかかわらず、それをコントロールする能力は成長していないのです。今週のガイドを通して、人間は自然とのつながりの中でいきるものであり、自然に活かされ歩む者であることを教えられます。そして創造の神への信仰を新たにさせて頂く学びとしたいものです。

#### 1. 環境を創造する 4月25日(日曜日)

地球はじつにみごとに造られています。地球の円周は約4万キロメートル、それが24時間で一周します。とすると地球は時速1,666キロメートルというジェット機より早い速度で回転していることになります。そんなに早く回っているのに、その上に住む私たちは遠心力で振り飛ばされることはないばかりか、煙突から上る煙も真つすぐ空に上がっていくのですからとても不思議としか言いようがありません。また、地球は太陽に対して23.5度傾いています。そのお陰で太陽の熱は北や南に分散するのです。この傾きがなければ、暑い地域はずっと暑く、寒い地域はずっと寒いままになってしまうのです。つまり春、夏、秋、冬の四季もなくなるということです。そんなことを考えると、地球にいのちが存在するというのは、決して偶然ではないことがわかります。このように私たちが住む地球を、いのちを守り育てる環境としてお造りになられたのは神の素晴らしい御業です。このように考えると、神のご配慮が沢山見えるのではないのでしょうか。そしてあなたも私も、その神さまのすばらしい作品なのです。

#### 2. 安息日の環境 4月26日(月曜日)

人間は時間について、時の区切りを考え出しました。そしてそれは天体の動きを土台としています。

- 一日 地球がその軸の周りを一回転する時間
- 一ヵ月 月が地球の周りを一回転する時間
- 一年 地球が太陽の周りを一回まわる時間

しかし、週制度(七日)だけは天体の動きからでは見つけることはできません。その起こりは聖書にしかないからです。創世記2:1~3を見ると、神が「安息日」を「休み」「祝福し」「聖別」してまで、私たちに与えたいと思われた愛と情熱を思います。これは、人間が創造という御業で神といかに深く結ばれているかということの証です。安息日は感謝の日です。そう！こ

のような素晴らしい関係と環境を造って下さった神さまへの「感謝の祝典」なのです。

### 3. 罪以後の環境の変化 4月27日(火曜日)

ガイドには、罪以後の環境の変化として「光の衣が消え」「茨とあざみが生え」「土地が固く、不毛に」その上「死が入り込んで」きたことが記されています。「その程度があまりにもひどいので、私たちはこれらを人生の一部のように見なしています」。(ガイド)

それでも地球は人間の営みを受けとめてきました。ゴミもある程度なら分解し、空気も水も少々汚してもきれいにする力を持っていました。ところが最近では地球の処理できる能力を超えるゴミを出すようになってきました。放射性物質などは何万年もかかると言います。海の水を綺麗にしているのは干潟に生きている小さな虫やプランクトンです。しかし人間は干潟を埋め立てて工場を造ったり港を作って、干潟をなくしてきました。人間の生活を守ることが地球の処理能力をどんどん弱めてきたように思います。更に地球規模の異常気象、地球温暖化などの到来。

このような現実の中で、「新しい天と新しい地」を望み見て生きる私たちの歩みは、大きな意味を持っていくのではないのでしょうか。

### 4. 環境保護と私たちの責任 4月28日(水曜日)

世界の所有者は神です。しかし神はそのすべての管理、運営を人間に任せられたのです。そして人間は他の生き物とは違って、動物を支配し、環境に影響を及ぼすために大きな力を与えられているのです。

二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出物について 二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)は、私たちが普通に吐くときに出る気体です。植物が光合成して二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)から酸素(O<sub>2</sub>)を作り出してくれるという循環があるので、地球が二酸化炭素だらけになることがないのです。しかし、なぜ今二酸化炭素がこんなにも増えているのでしょうか。私たちは、酸素を含む空気を吸って、二酸化炭素を排出しています。そしてこのバランスが崩れてしまっていることが温暖化現象の原因になっているのです。実は私たち一人一人が毎日使うものからかなりの二酸化炭素が排出されています。たとえば自動車・電気照明・テレビ・冷暖房などです。それらの使用を減らす(設定に気を使う)だけでもCO<sub>2</sub>の排出量は変わるのです。気をつけたいと思います。

ちなみに、日本人一般家庭では、年間6~10トンのCO<sub>2</sub>を排出しています。しかし、街の中でよく見かける自動販売機は年間211万トン、コンビニは300万トンにもなります。自動販売機もコンビニも、24時間動き続けていますからその電気使用量が高くなるのは当たり前なのです。こんなに必要なのでしょうか。今のうちに、なんとかみんなで真剣に考えなければ大変なことになります。

### 5. 太陽礼拝者 4月29日(木曜日)

太陽崇拝も考え直さなければならない時代が来しました。つまり注意が必要だということです。「健康のために日光浴をしたほうが良い」と言われた時代もありましたが・・・。1998年から母子手帳に書かれていた「日光浴のススメ」という文字が削除されたそうです。それは紫外線の害のほうがはるかに大きいと認識されるようになったからです。詳しいガイドの内容も参考にしつつ、正しい判断と理解を持っていきましょう。